

生誕450年

伊達政宗の生涯をたずねて

第6回

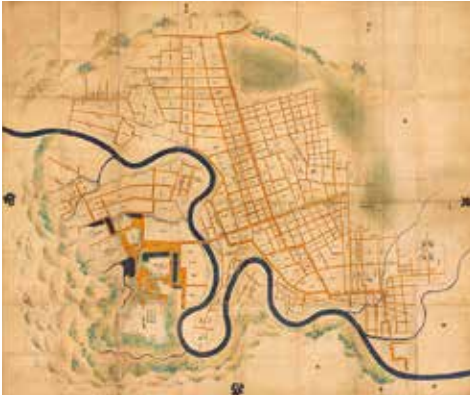
仙台市博物館 学芸企画室 水野沙織



仙台北城下の町割り

現在一〇八万人が暮らす仙台市、その中心市街地は、伊達政宗が造った城下町を基盤としています。

慶長六年（一六〇一）一月一日、仙台北城の造営が始まったこの日、政宗は北目城で家臣の川島豊前・金森内膳に対し、仙台の地形の絵図をもとに武家屋敷の町割りを指示しました。城下町には、江戸と陸奥国を結ぶ幹線道路の奥州街道を引き込み、仙台北城から東に向かつて大町通を引き、その交差点（芭蕉の辻）を基点として碁盤の目状に町割りを行いました。そして、主要な道沿いに町人町を、その外側に家臣の屋敷を配置しました。



現存最古の仙台北城下絵図である「奥州仙台北城絵図」（正保2年（1645）仙台市博物館蔵）。この後も寺社や門前町の造営、武家屋敷地の開拓により城下は拡大していきます。

城下の建設と町の移転

しかし、政宗の死から約一〇年後の仙台北城下を描いた「奥州仙台北城絵図」には、長方形ではない街の区画や、軸が異なる道が見えます。これには、城下が広瀬川の河岸段丘上にあり坂や崖など起伏が多く、真っ直ぐに道が作れない地形的な理由がありました。さらに、仙台開府以前からあった陸奥国分寺周辺の町場や政宗が晩年の居城とした若林城の城下の町割りは、初期の仙台北城下とは方向を異にして造られているからです。この絵図には、若林城下の造成とともに奥州街道も当初の道筋より東に引き寄せられ、いくつかの町が移転した状態が描かれています。

政宗のまちづくりは、母体となる町場のない場所に新たに城下町を造るという大事業でした。開府当初の城下町の中心には、伊達氏に従って米沢・岩出山・仙台に移住した「御譜代町（大町・肴町・南町・立町・柳町・荒町）」の他に、もともとあった仙台北城周辺の町場を移してきた町がありました。

ひとつは政宗が町割りの指示をした北目城の町場、もうひとつは木ノ下の陸奥国分寺周辺にあった旧領主国分氏の町場で、どちらも仙台開府以前に人や物資の集積地であったと考えられます。北目城下の人々は北目町、国分寺周辺の人々は国分町・二日町に移され、

国分町と北目町は、伝馬役という藩の参勤交代や幕府の巡見使などに人馬を提供するという宿場的な機能を持たされています。一方、木ノ下の白山神社の氏子である国分町・二日町の人々は、白山神社の祭礼のある三月に交代で日市を開催する特権が与えられ、北目町には毎年一二月に日市の特権が与えられるなど、これらの町は御譜代町に次ぐ上位に置かれました。政宗は既存の町場機能を住民と共に取り込む方法で、城下町を構成したのです。城と町の建設は、町人や近郊の農民が労働に携わり、建築資材となる材木は仙台北郊をはじめ、気仙郡・本吉郡などから海路で運ばれるなど、領内全体を巻き込んだ事業でした。そのような中、城下の町方のひとつである田町の人々が仙台北城の工事に夜から集まっていた様子を見た政宗が、人々に酒を振る舞い、今日は帰って明日の朝早くから働くように命じたという話が残っています。城下建設を主導した政宗ですが、現場で働く人々にも気を配っていたようです。

仙台北の末永い繁栄を祈って

政宗は成長の早い杉の植林を推奨しました。人々が暮らす屋敷の建材として薪として必要不可欠な樹木を、子や孫が生きる将来に残そうと考えたからです。領内の人口が増え、城下町や村が富み栄えることを想定した上でのことでしょう。

仙台北のまちは、政宗ひとりが造ったものではありませんが、将来を見据えた政宗の城下町を基に発展し、現在に続いているのです。

※本稿では仙台市博物館の学術研究機関たる立場から、歴史上の人物名に敬称を付していません。

この夏、
仏教美術の最高峰が
東北に



国宝 八大童子立像 制吒迦童子像 運慶作 金剛峯寺蔵（前期展示）

空海と高野山の至宝

KUKAI and KOYASAN—The Treasures of Sacred Mountain—

東日本大震災復興祈念 特別展

7月1日(土)~8月27日(日)

※期間中、展示替えを行います。
前期:7月1日(土)~7月30日(日)、後期:8月1日(火)~8月27日(日)

前売券好評発売中! [6/30まで]

ローンチケット(コード:21911)、チケットぴあ(コード:990-990)、セブンチケット(http://7ticket.jp/)、イープラス、藤崎、仙台三越、日専連カスターセンター(アエルビル9F)、ニッセンレン・テラス セルパ店、イオン仙台店、イオン仙台中山店、イオン仙台華町店、イオン利府店、イオン富谷店、イオン名取店、イオン多賀城店、イオン石巻店、河北新報販売店、仙台緑日、仙台市博物館ミュージアムショップ

観覧料: 一般:1,500円(前売:1,300円)、
大学生:1,200円、小・中・高校生:800円
※10名以上の団体は100円引き
※リピーター割引があります
(使用済み半券提示で当日料金より100円引き。
他の割引と併用不可)

◇休館日: 毎週月曜日(7/17、8/7は開館)7/18(火)

◇開館時間: 9時~16時45分
(入館は16時15分まで)

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM TEL:022-225-3074 仙台市博物館 検索